



2022年11月9日  
東日本旅客鉄道株式会社  
JR東日本スタートアップ株式会社

～JR 東日本スタートアッププログラム 2022 春の採択企業について～

## 10 件の提案を採択、DEMO DAY（発表会）で“スタートアップ大賞”を決定します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）は、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々との協業によるビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を進めてきました。
- 6 年目となる今回はさらなるオープンイノベーションを推進するため、春と秋の年 2 回募集を行いました。また、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」の 3 つをテーマに掲げ、未来を見据えた協業をベンチャー企業の方々と進めてまいります。
- 春は、2022 年 4 月から参加を募り、合計 116 件の提案の中から 10 件を採択しました。
- 採択した提案および協業内容の DEMO DAY（発表会）を開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、「優秀賞」を決定します。採択企業は JR 東日本グループと協業し、順次テストマーケティングを行ってまいります。

### 1. 「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年度に初めて開催し、これまでに計 94 件の提案を採択。鉄道事業や IT 事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の 2018 年度第 1 回日本オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞、2020 年度第 3 回同賞において、環境大臣賞を受賞しました。

### 2. 春の採択企業

自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有する、概ね起業 10 年以内の企業を対象に、年度内にテストマーケティングを実施することを目指します。また、起業または起業後間もない方についても JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業の具体化を検討していきます。応募期間中に 116 件のご提案をいただき、書類審査とプレゼン審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」のテーマ提案を含む 10 社を採択し、年度内にテストマーケティングを行います。

#### 【採択企業一覧】

株式会社ジグザグ ●	株式会社 Sonoligo ●	株式会社 Arent※ ●
株式会社ソラリス ●	DataLabs株式会社※ ●	株式会社テラ・ラボ ●
株式会社 PocketRD ●	株式会社 MinD in a Device※ ●	株式会社 Momo ●
株式会社ピーステックラボ ●		

- 「地域共創」・・・観光資源の活用や MaaS などによる新しい旅や働き方、地域産業との連携による新たなビジネス創出など、沿線生活における駅などの資産の新たな価値創造
- 「デジタル共創」・・・AI やロボティクス、ドローンなどによる生産性向上、Suica をはじめとしたデータ資産の活用など、リアル×デジタルのくらしづくり
- 「地球共創（SDGs）」・・・カーボンニュートラル、エネルギー、サーキュラーエコノミーなど、持続可能社会実現への挑戦

※課題先行型マッチングイベント「STARTUP PITCH」からの採択

詳細はこちらを参照 <https://jrestartup.co.jp/news/2022/02/64299/>

### 3. DEMO DAY (発表会) について

審査により採択された 10 件の提案の中から、社外審査員を交えてスタートアップ大賞、優秀賞を決定します。

DEMO DAY の様子はオンライン配信しますが、受賞企業および受賞者につきましては、改めて HP (<https://jrestartup.co.jp/program/>)でもお知らせします。

#### (1) 配信日

2022 年 12 月 8 日 (木)

視聴申し込み URL : <https://jresup2022spring.peatix.com/>

#### (2) 審査員 (50 音順)

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ  
株式会社 Q0  
守屋実事務所  
東日本旅客鉄道株式会社

共同創業パートナー  
代表取締役社長  
代表  
代表取締役副社長マーケティング本部長  
代表取締役副社長イノベーション戦略本部長  
常務取締役グループ経営戦略本部長

仮屋 聡一氏  
林 千晶氏  
守屋 実氏  
喜勢 陽一  
伊勢 勝巳  
渡利 千春



**仮屋 聡一**  
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ  
共同創業パートナー

グロービス・キャピタル・パートナーズでは世界各国の機関投資家などより累計 1500 億円超の資金を預かり、日本における有望ベンチャー企業へ、成長のために必要となる「ヒト(人材)」「カネ(資金)」「チエ(経営ノウハウ)」の総合的な支援を行っている。



**林 千晶**  
株式会社 Q0 代表取締役社長

花王を経て、2000 年に株式会社ロフトワークを起業、2022 年まで代表取締役・会長を務める。退任後、株式会社 Q0 を設立。秋田・富山などの地域を拠点において、時代を代表するような「継承される地域」のデザインの創造を目指す。



**守屋 実**  
守屋実事務所 代表

新規事業立ち上げのプロフェッショナル。株式会社ミスミを経て、株式会社エムアウトの創業に参画、2010 年、守屋実事務所を設立、ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立ち上げに参画、副社長を歴任後、ブティックス株式会社、株式会社セルムなどの経営に参画する。

### JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 TokyoYard Building 7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株主：東日本旅客鉄道株式会社 (100%)

設立日：2018 年 2 月 20 日

出資枠：50 億円

連絡先：E-mail [info@jrestartup.co.jp](mailto:info@jrestartup.co.jp)

ホームページ <https://jrestartup.co.jp>




あなたの夢を未来へつなぐ  
『明日』創造ステーション


## 1. 株式会社ジグザグ（代表取締役：仲里 一義）

	<b>地域共創</b> <b>越境 EC を活用した地産品×海外拠点による新しい旅マエモデルの創出</b> JRE MALL を越境 EC 化し、地域のいいものを海外に販売する環境を構築して、海外拠点と連動させることで、現地で直接体験・購入する機会をつくり、新しい旅マエモデルの創出を図ります。
	実施箇所：TRAINIART JRE MALL 店、ホテルメトロポリタン プレミア 台北、One&Co Taipei
	実施期間：2023 年 2 月頃～


## 2. 株式会社 Sonoligo（代表取締役：遠山 寛治）

	<b>地域共創</b> <b>地域のイベントサブスク提供による移動の創出と地域活性化</b> 沿線地域のスポーツチーム、音楽団体、美術館、カルチャーセンター、文化施設などと連携し、新規の方に新しい文化体験の機会を提供することによる新たな移動の創出と地域活性化の可能性について検証します。
	実施箇所：京葉線沿線・千葉エリア
	実施期間：2022 年 12 月頃～


## 3. 株式会社 Arent（代表取締役社長：鴨林 広軌）

	<b>デジタル共創</b> <b>高架橋鉄筋モデルの自動化と設計業務効率化</b> これまで膨大な時間と労力を要していた、鉄道高架橋の複雑な鉄筋の設計について、3D や BIM、自動化技術による設計業務の効率化を検証します。
	実施箇所：鉄道建設工事
	実施期間：2022 年 11 月～


## 4. 株式会社ソリス（代表取締役：梅田 清）

	<b>デジタル共創</b> <b>ソフトロボットによる配管検査・清掃の生産性向上</b> 空気の出し入れのみで動作する人工筋肉を搭載したミズ型ロボットを利用し、駅構内施設などのファイバースコープなどでは見ることの出来なかった配管深部の状態把握や不具合事象の予防、清掃効率化の可能性を検証します。
	実施箇所：首都圏エリア駅構内店舗など
	実施期間：2022 年 11 月～


## 5. DataLabs 株式会社（代表取締役：田尻 大介）

	<b>デジタル共創</b> <b>鉄道構造物点群データの自動 BIM モデリング</b> 鉄道構造物の点群データから BIM モデリングを自動で作成する技術について施工監理の効率化や BIM モデル作成効率化に向けて、建設現場で配筋された鉄筋および既設高架橋の点群データを用いて検証を行います。
	実施箇所：鉄道建設現場および新幹線高架橋
	実施期間：2022 年 11 月～


6. 株式会社テラ・ラボ（代表取締役：松浦 孝英）

デジタル共創 	<b>航空リモートセンシングによる各種検査の効率化</b> 航空機などによる迅速なデータ取得およびデータ処理技術により、鉄道沿線の雪崩監視や鉄道構造物検査の効率化に向けた実証実験を行います。
	実施箇所：盛岡支社
	実施期間：2022年11月～


7. 株式会社 PocketRD（代表取締役：粉倉 宏哉）

デジタル共創 	<b>デジタルツインアバターによる鉄道現場メタバースでの社員研修</b> 本人そっくりのアバターを用いて、技術継承や技術向上を目的に実施している社員研修を鉄道現場を再現したメタバース空間上で行い、危険回避はもちろん没入感の担保による効果を検証します。
	実施箇所：横浜支社
	実施期間：2022年12月～


8. 株式会社 MinD in a Device（代表取締役：加藤 真平）

デジタル共創 	<b>次世代 AI による鉄道設備検査・点検の効率化</b> 検査時間が夜間に限られる場合が多く、対象数も多い鉄道設備検査・点検作業について、学習データを仮想空間上で無数に作成できる次世代 AI を用いて検査・点検の効率化に向けた検証を行います。
	実施箇所：新幹線設備
	実施期間：2022年12月～

9. 株式会社 Momo（代表取締役：大津 真人）

デジタル共創 	<b>現場実態に合わせた最適な IoT ソリューションの提供</b> IoT 非接触センシング技術を活用した商業施設など既設電気設備への機能付加により、電気容量超過や配線不具合などの早期発見など、安全管理業務の省力化と精度向上可能性を現場実態からのアプローチで検証します。
	実施箇所：ルミネほか
	実施期間：2023年1月～

10. 株式会社ピーステックラボ（代表取締役社長：村本 理恵子）

地球共創(SDGs) 	<b>シェアリングサービスを活用した新たな列車旅行体験の創出</b> モノのシェアリングサービスのプラットフォームと連携することで、移動中や旅行中に必要なものを「駅で借りて、駅で返せる」という新しい旅のスタイルを提案し、列車の旅の価値をアップデートしていきます。
	実施箇所：東京駅、仙台駅（予定）
	実施期間：2023年1月頃～（予定）